

第三セクター鉄道開業準備協議会からの要請に対する考え方

要請項目	考え方
1 譲渡前修繕、不用資産撤去等 [JR資産の譲渡前の必要な整備・修繕の実施と三セク会社において不用となる資産の撤去及び低価格での譲渡]	<ul style="list-style-type: none"> 資産の譲渡額については、簿価を基本に北海道と協議の上、有償での譲渡を考えております。なお、引き継ぎに当たっては、土木構造物(橋梁、トンネル等)、線路設備(線路、まくら木、路盤等)、車両など鉄道資産全般について、譲渡前に規程等に基づく適切な検査と必要な整備・修繕を実施します。 三セク鉄道会社において不用となる施設については、今後、その取扱いについて協議していきたいと考えております。
2 共同使用料の減免 [五稜郭駅などJR施設・設備の共用等に係る使用料の減免]	<ul style="list-style-type: none"> 五稜郭駅や函館運輸所、本社社屋の当社施設を共同使用する際の使用料については、適切な方法により算出し、より効率的な運営方法の検討を進めていく中で、使用料を抑えることについても、あわせて検討していきたいと考えております。
3 職員の出向、人件費支援等 [専門的技術や経験を有する職員の出向及び人件費支援、プロパー社員養成のための研修受入れ及び研修費支援]	<ul style="list-style-type: none"> 三セク開業時の出向者の派遣については、三セクがプロパー化を積極的に図ることを前提としたうえで、北海道の意向を伺いながら、必要な出向者数などについて、できる限り協力する考えです。 出向者の人件費の一部を当社が負担することとし、三セクが当社に支払う出向負担金の具体的な金額については、今後、調整していきたいと考えております。なお、当社が負担する期間は三セク鉄道開業後10年間をと考えております。 三セクのプロパー社員の養成のため、研修の受け入れ等について協力していく考えです。研修に伴う経費については、どのような研修等を行うかも含めて、今後、調整していきたいと考えております。
4 函館駅への乗り入れ [利用者の利便性を確保するため、三セク列車及び乗務員のJR函館駅までの乗り入れ]	<ul style="list-style-type: none"> 当社が三セクの車両を使用し、三セクの乗務員により函館・五稜郭間を運行することを前提に、今後、具体的な調整を進めていきたいと考えております。
5 乗継割引制度の導入 [利用者の負担軽減を図るため、並行在来線とJR函館線との乗継運賃の割引制度の導入]	<ul style="list-style-type: none"> 乗継に関する乗車券等の乗継割引については、割引定期乗車券や割引企画回数券を設定する方向で、今後、具体的な調整を進めていきたいと考えております。
6 寝台特急列車の運行継続 [利用者の多様なニーズに応えるとともに、三セク鉄道会社の経営安定化にも寄与する寝台特急列車の運行存続]	<ul style="list-style-type: none"> 北海道新幹線開業に伴う寝台列車の運行計画については、関係会社との調整が必要であることから、現時点で決まっていることはありません。